

The Global Production Engineering Company
Hirata

世界の生産エンジニアリングメーカー



第56回定時株主総会

2007年6月27日

事業報告
**（平成18年4月1日から
平成19年3月31日まで）**

1. 企業集団の現況

（1）当事業年度の事業の状況

① 事業の経過および成果

- わが国の経済

自動車やデジタル家電の需要が拡大基調を維持し、全般的には底堅く推移

- 世界経済

アメリカ：減速基調が続くも企業収益改善に伴い設備投資は底堅く推移

欧州：穏やかに景気回復

アジア：景気が減速しつつも、設備投資は比較的堅調に推移

中国：高い経済成長に伴う設備投資動向

- 当社グループ

自動車関連生産設備事業、FPD関連生産設備事業および半導体関連生産設備事業を中心に堅調な売上を維持

平成19年3月期 連結会計年度実績

項目	金額	前年同期比
売上高	48,146百万円	8.3%増
営業利益	3,706百万円	20.9%増
経常利益	3,420百万円	12.6%増
当期純利益	1,869百万円	46.3%増

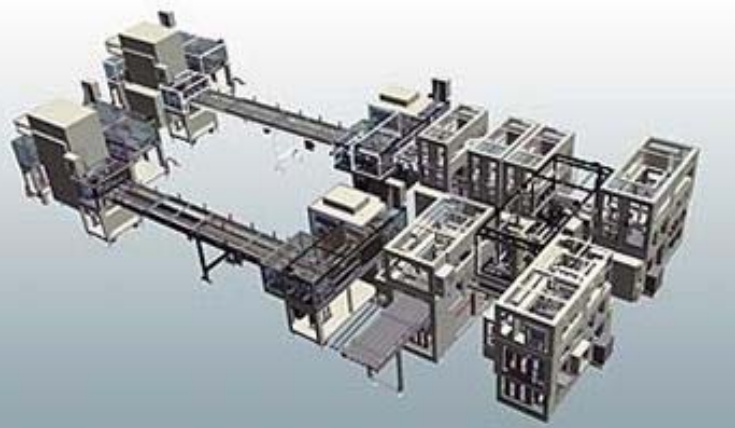
事業別売上高および受注高

事業区別	売上高	受注高
自動車関連生産設備事業	13,056 百万円	11,808 百万円
FPD関連生産設備事業	18,318 百万円	20,978 百万円
半導体関連生産設備事業	5,738 百万円	5,568 百万円
物流機器および家電関連 生産設備事業	7,604 百万円	6,293 百万円
その他	3,428 百万円	3,552 百万円
合計	48,146 百万円	48,203 百万円

自動車関連生産設備事業

売上高 13,056百万円

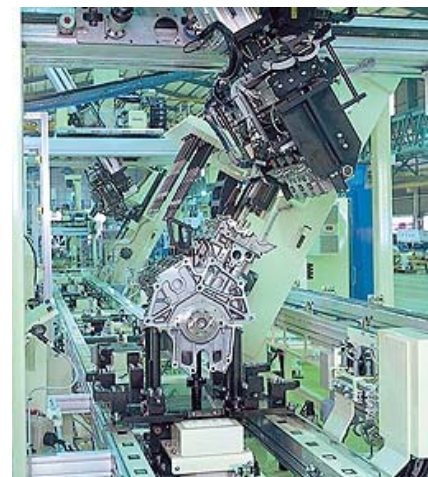
前年同期比 2.7%減



自動車部品関連設備



トランスミッション関連設備



エンジン組立設備

FPD関連生産設備事業

売上高 18,318百万円

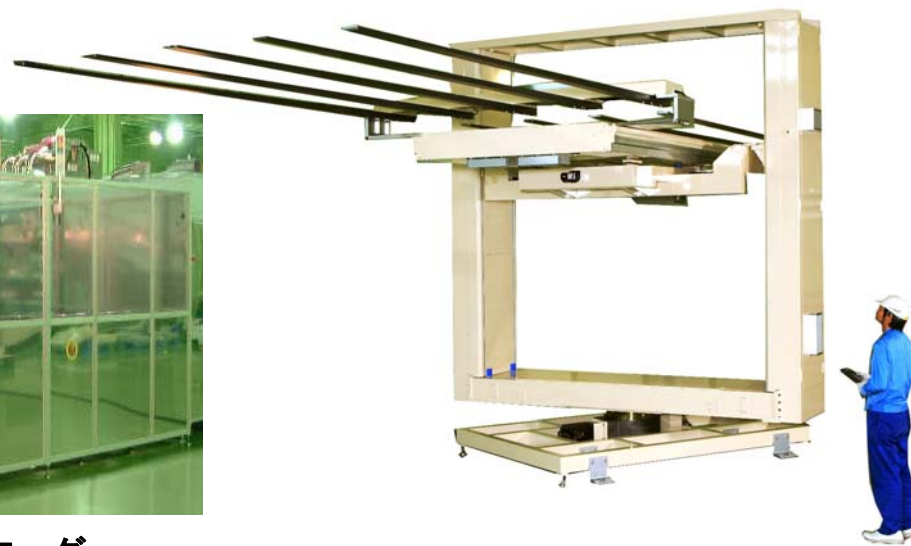
前年同期比 26.6%増



ヘッドコーター



ローダー・アンローダー
(オートローダーシステム)



第10世代液晶ガラス基板搬送ロボット

半導体関連生産設備事業

売上高 5,738百万円

前年同期比 14.3%増



ロードポート(FOUFオープナ)



ウエハ搬送ロボット

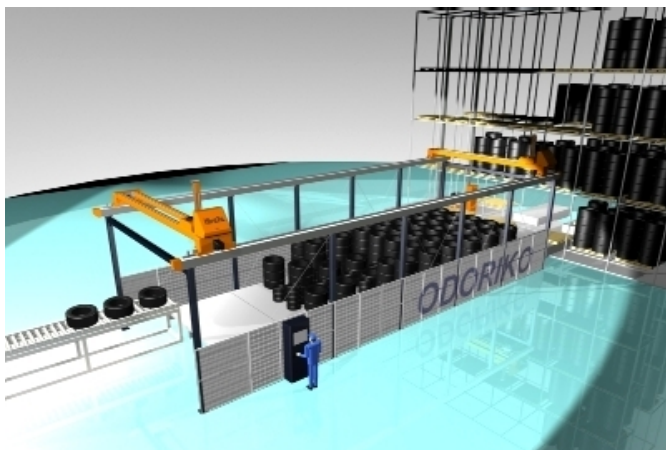


EFEM (Equipment Front End Module)

物流機器および家電関連生産設備事業

売上高 7,604百万円

前年同期比 10.7%減



タイヤ製品仕分けラックレスストック
『踊り子』



薄型テレビ自動組立設備



冷蔵庫生産ライン

② 設備投資の状況

企業集団の設備投資総額 9億67百万円

< 主要設備 >

生産本部ユニット工場新築
294,756千円

生産本部五面加工機導入
178,567千円



③ 資金調達状況

- 150万株の新株式の発行 総額3,069百万円
- 自己株式12万4千株の売出 総額253百万円
- 第6回無担保変動利付社債 5億円
- 肥後銀行を主幹事とした
三井住友銀行とのシンジケート
ローン(協調融資)を組成 無担保・無保証で
総額50億円の
コミットメントライン
(融資枠)を設定

④ 事業の譲渡、吸収分割または新設分割の状況

⑤ 他の会社の事業の譲受けの状況

⑥ 吸収合併または吸収分割による他の法人等の事業に関する権利義務の承継の状況

⑦ 他の会社の株式その他の持分または新株予約権等の取得または処分の状況

(2) 直前3事業年度の財産・損益の状況

(3) 重要な親会社および子会社の状況

(4) 対処すべき課題

後程、詳細をご説明致します。

(5) 主要な事業内容

（6）主要な営業所および工場

（7）使用人の状況

（8）主要な借入先の状況

**（9）その他企業集団の現況に関する
重要な事項**

2. 会社の現況

（1）株式の状況

（2）新株予約権等の状況

（3）会社役員等の状況

（4）会計監査人の状況

（5）業務の適正を確保するための体制

（6）会社の支配に関する基本方針

連結貸借対照表 (平成19年3月31日現在)

連結貸借対照表

(単位:千円)

主要科目	第55期 (平成17年度)	第56期 (平成18年度)	増減	増減率
資産の部				
流動資産	40,310,608	35,391,550	▲4,919,058	▲12.2%
固定資産	19,103,126	18,949,962	▲153,164	▲0.8%
資産合計	59,413,734	54,341,512	▲5,072,222	▲8.5%
負債の部				
流動負債	32,396,808	23,601,550	▲8,795,258	▲27.1%
固定負債	12,161,481	11,155,195	▲1,006,286	▲8.3%
負債合計	44,558,289	34,756,746	▲9,801,543	▲22.0%

連結貸借対照表

(単位:千円)

主要科目	第55期 (平成17年度)	第56期 (平成18年度)	増減	増減率
資本の部				
資本金	1,099,462			
資本剰余金	685,462			
利益剰余金	8,006,730			
資本合計	14,746,832			
負債、少数株主持分及び 資本合計	59,413,734			
純資産の部				
資本金	※1,099,462	2,633,962	+ 1,534,500	+ 139.6%
資本剰余金		2,322,634		
利益剰余金		9,703,073		
評価・換算差額等		4,777,374		
純資産合計		19,584,765		
負債及び純資産合計	※59,413,734	54,341,512	▲ 5,072,222	▲ 8.5%

連結損益計算書
(平成18年4月 1日～
平成19年3月31日)

連結損益計算書

(単位:千円)

	第55期 (平成17年度)	第56期 (平成18年度)	増減	増減率
売上高	44,457,474	48,146,651	+ 3,689,177	+ 8.3%
営業利益	3,065,407 (6.9%)	3,706,707 (7.7%)	+ 641,300	+ 20.9%
経常利益	3,038,661 (6.8%)	3,420,468 (7.1%)	+ 381,806	+ 12.6%
当期純利益	1,278,121 (2.9%)	1,869,312 (3.9%)	+ 591,190	+ 46.3%

主な株主資本変動

- 株式上場に伴う新株発行による
資本金、資本剰余金の増加
- 当期純利益による利益剰余金の
増加

第56期 貸借対照表

第56期 損益計算書

株主資本等変動計算書

対処すべき課題

当社グループは、一層の収益力と安定した業容確保の為、

平成19年度は以下の施策を重点的に取り組んでまいります。

① グローバルな事業活動の強化

- 世界8カ国にわたる11の海外子会社の強化
- 本社と子会社および子会社間の連携強化



マーケティング力、グループ各社間の協力関係を
一層強化する

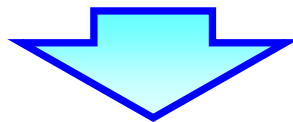
相互の効率的な経営資源の投入と経営計画達成
責任を明確にするため



海外事業本部を設置し統括的な管理体制を整備

② 収益力の強化

当社の強みであるエンジニアリング力とモノ造り力を一層強化し、収益力強化を図るため

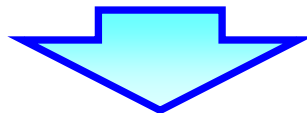


- 生産情報のスピード化を図る
- 迅速且つフレキシブルな生産計画、調整を行う
- より合理的、効率的な生産活動により原価低減を進める

③ 技術力の抜本的な強化

当社グループの生産システム提案の基礎技術であるロボット技術等を抜本的に強化

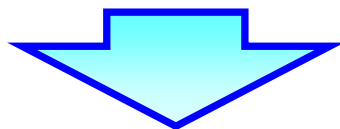
市場変化を見据えた将来技術の研究、開発に集中すべく、基礎技術部を新設



技術者の集約化、開発の効率化を進める

④ サービス機能強化

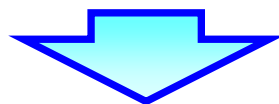
市場の変化およびお客様の声を敏感に捉え対応
すべく



平成19年2月に子会社ヒラタエ営株式会社をヒラ
タフィールドエンジニアリング株式会社へ商号変
更および業容変更(平成19年4月より営業開始)し、
顧客満足度の向上を図る。

⑤ コンプライアンスの一層の徹底

平成17年9月に策定しました「コンプライアンス憲章」の遵守を更に徹底するため



- 法令ならびに業務管理に関する社内諸規程の決裁手続きの遵守、機密管理体制の整備等を一層強化すべく法務機能を充実させる
- すべてのステークホルダーの総合的な利益確保に配慮した経営を推進する